

## 尾崎為次郎氏談

二十四歳

1919・5・12  
全文

技芸学校に校長尾崎為次郎君を訪いて意見を聴く。約二時間に亘り、これを悉く記すは素より不可能事、唯その一斑を記す。美しいお嬢さんの差し出すお茶に喉を湿して大いに語る。

「や、実に造船所は維新当時の黒船見た様なものですよ、御社の出来た為に色々新しい思想や風俗が入って来て我々大いに利益を得ている訳ですが、何しろ鳥羽町の人々がまだ維新当時の日本人ですからね、新旧思想の融和統一という様な点で一寸暫くは困るだろうと思いますね。」

「造船所が出来た為に、御専門の女子教育という方面でどんな影響があつたでしょう。あなたの立場から造船所を見て或は御迷惑な点もあると思いますが、如何です。」

「左様ですね、御社の社員職工の方の娘さんが一二入学せられたのもその一つでしょうが、これは人数も少く、殊に皆おとなしい娘さん例えば田中千春さんの様なもので、大して学校内に変化を及ぼすこともありませんでした。唯困るのは生徒の

初出・底本 日和 第三号  
 / 大正八年五月 帝国汽  
 船鳥羽造船所 \*無署名  
 記事。貼雑年譜に収録。  
 見出しは「御社が出来て  
 から／新しい思想を受け  
 て／垢抜のした娘になつ  
 た／町立女子技芸学校長  
 /尾崎為次郎氏談」。新  
 字体、現代仮名遣いに改  
 め、総ルビをパラルビと  
 したほかは原文のまま。  
 送り仮名の過不足はルビ  
 で補った

## 学校の往き帰り

に職工さんの群むらに逢あうことです。登校の際は何でもありませんが、学校が退ひけますのと職工さんの帰りと恰度ちやうど一緒になることがありますので、女生徒は無暗むやみに怖こわがったりなぞして一寸困こまりました。然しかし大した事故じこが起おこったという様なことはありません。」

「それから、社員の内には若い男が多おほいのですから、それが娘さん達の誘惑ゆうわくになつてお困りになつていられるという様なことはありませんか。」

「これと氣のつく程のこともありませんが、どうしても都風みやこふうの方々が多く入つて来られたのですから、その為、娘達の風も何所どことなく華美けいびに変じ、殊ことに社員の方の妻君さいくんとか妹さんなどの風を見習つて、何なんとなく娘達にあか抜けがして来た様に考えられますね。」

「男女の交際については何どうお考えです。」

「マア消極主義を採つて居ります。」

## 歌留多会

は鳥羽かなりは可也盛んにやりますので、そんなことから男女の接触が行われるのですが、これについても、私はなるべく男と一緒にやらずに、女は女同志でやる様にと申し聞かしている次第です。つまり私の教育方針はしとやかな女を作りたい。つまり良妻賢母主義ですな。そういった風の考えですからな

るべくおてんば娘は作り度くないと思つています。」

「それはどんなものでしょう。私の考えでは、男女の間に色々秘密の罪悪が行われるのは、男女七歳にしてなどという思想から双方の接する機会が少く、却つて彼等の對手に対する妙な好奇心をそそるが為ではないでしょうか。仏蘭西に裸体倶楽部というものがある。男女を裸体にして会談せしめ、舞踏せしめるのです。この結果は一寸肉を見ても情慾を起すという様なことが無くなつて大変好結果だと云います。私はこの筆法で男女交際を勧めたいと思ひます。そして又、男女の自由交際ということは御説の良妻賢母主義にも適う訳です。

これまでの様によくも知らない男を親の強いる儘亭主にして一生の運命を打破す様なことの多いのや、離婚の多いのや、間男の多いのなどは皆男女がよく双方の身体、精神を了解せずして一緒になるから起ることはありませんか。女をして一生良妻たらしめ、よき子の母たらしむには、配偶選択の方便たる男女自由交際が必要だと思ひます。御承知の通りこれは彼のエレン、ケイなども主張して居る所です。」

「なる程、そんな風な考も我々大いに研究はしているのですが、何を申すにも、親から預つている娘のことですから、親の意に逆つた教育を施すのは考物です。まだ鳥羽の人々は所謂旧思想で、御説の様な新しい行き方をすれば、必ず危険に思うに相違ない。マア、これは徐々にやるより致方がないで

しようね。」

「どうでしょう。思切おもいきつて一つ、我々社員の若手連と、御学校の娘さん達と日を決めて、あなた方の御指導の下に談話を交換するという様な会を御開きなすつては。」

「それは余程よほど考え物ですね。そんなことをしようものなら、鳥羽の人達から、あの校長は何なんだ、自分が先に立つて恋の取りもちをしている位の非難おこは起り兼ねませんからね。マア、我々の立場としては可及的消極方針を採る方がいいと思つて居ります。時には生徒を嫁に欲しいから世話くして呉れなどという申込もつじみを受けることがあります。私は皆断つている。学校は結婚媒介所ではありませんからね。」

先生は頭脳に於て、経験に於て可也偉い人也。されど惜しい哉かな、老年者の常、理想実現の勇氣に欠け、万事消極方針を採らるるは同どうぜず。(文責在記者)